



白泥涼炉「梅図盛彫」
(青木木米作)



企画展

蒸し製煎茶の喫茶の巻

令和6年

1月3日水～5月27日月



南蛮写急須
(青木木米作)



関連イベント(詳細は裏面をご覧ください)

- 煎茶を楽しむテーブルコーディネート(3月10日)
- 担当学芸員によるギャラリートーク(2月23日、4月27日)

- 開館時間 9:00～17:00(入場は16:30まで)
 - 休館日 毎週火曜日
 - 観覧料(常設展・企画展共通) 大人(15歳以上)300円、学生 無料
- ※学生・70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、身分証明書のご提示で無料になります。

協力: 公益社団法人静岡県茶業会議所、公益社団法人静岡県茶手揉保存会、静岡県農林技術研究所茶業研究センター、
不双産業株式会社、永谷宗園茶店、海野俊堂氏(煎茶道静風流派家元)、松本佑己氏(株式会社アビリティフィールズ)ほか



ふじのくに茶の都ミュージアム

企画展 蒸し製煎茶 喫茶の変遷

おもな 展示内容

- I 蒸し製煎茶の誕生
- II 煎茶文化の始まりと発展
- III 輸出向けに作られたお茶
- IV 国内消費の高まりと大衆化
- V 手軽な喫茶法の普及と新たな楽しみ方



現在、日本で最も普及している「蒸し製煎茶」は、江戸中期に発明されました。その後、蒸し製煎茶は、売茶翁や文人たちにより日本独自の喫茶文化として発展してきました。また、幕末・明治期には輸出の主力商品として日本の近代化を支えた一方、国内では全国的に喫茶習慣を根付かせる力になりました。昭和期には日本の家庭に定着し、おいしいいれ方が科学的に研究されるようになるなど、時代に合わせて喫茶方法や販路は変化してきました。さらに現代では、ティーバッグやティーマシーン、手軽においしいお茶が飲めるように工夫された茶器など、煎茶を味わう多様な方法が開発されています。

本展では、図書資料、絵画資料、茶道具等を展示し、さまざまな時代で人々を魅了してきた蒸し製煎茶がどのように飲まれてきたかを紹介します。



①『泡茶訣』田能村竹田 ②煎茶道の道具(海野俊堂氏所蔵) ③ティーバッグ見本(不双産業株式会社提供) ④手軽にお茶を楽しむ茶器 ⑤煎茶を楽しむテーブルコーディネート(株式会社アビリティフィールズ提供)

※資料の劣化を防ぐため、古書及び絵画資料は写真パネルでの展示を予定しています。

関連イベント

I 煎茶を楽しむテーブルコーディネートセミナー ～自分をもてなし 心豊かにイキイキと～

現代のストレス社会を心豊かにイキイキ過ごすための暮らしのテーブルコーディネートに加え、日常の食卓に彩りを添えるちょっとしたお料理コーディネートも学べます。2種類の煎茶とそれぞれに合わせて講師が選んだこだわりのお菓子2種も味わえます。



- 日時 令和6年3月10日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00
- 場所 博物館1階多目的ホール
- 講師 松本侑己氏(株アビリティフィールズ、フードプロデューサー)
- 定員 各回先着20名(事前予約制、1月3日から受付開始)
- 体験料 700円(別途会期中の観覧券が必要です)
- 対象 中学生以上 ※定員に達し次第、受付を終了します。 ※写真はイメージです。

予約方法 ふじのくに電子申請サービス又はFAXにてお申し込みください。

ふじのくに
電子申請
サービス

I 「煎茶を楽しむテーブルコーディネート」

右側の二次元コードからアクセスしてください。



FAX

FAX番号：0547-46-5007

件名「煎茶を楽しむテーブルコーディネート」とし、本文へ
①氏名(全ての参加者)、②携帯電話番号・FAX番号、③参加希望時間を記入の上、送信してください。(一度に4人まで申込み可)

※お預かりした個人情報はこのイベント以外に使用しません。
※1週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。

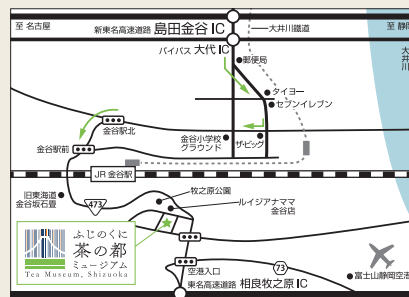
※内容は変更になることがあります。詳細はホームページでご確認ください。

II ギャラリートーク 学芸員が企画展の見所を解説します。

- 日時 令和6年2月23日(金・祝)、4月27日(土)
各日①10:30～11:00 ②13:30～14:00
- 場所 博物館2階企画展示室
- 定員 10名程度(当日先着順)
※総合案内で整理券を配布します。
- 参加料 無料(当日の観覧券が必要です)
※当日、総合案内にて整理券をお受け取りの上、企画展示室前へお集まりください。

ふじのくに茶の都ミュージアム

〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町3053番地の2
TEL 0547-46-5588 FAX 0547-46-5007
HP <https://tea-museum.jp>



- ・JR金谷駅より、バス・タクシーで約5分、徒歩約25分
- ・新東名高速道路：島田金谷ICより約13分
- ・東名高速道路：相良牧之原ICより約10分
- ・国道1号線：大代ICより約10分